

私たちもアイドルに!

女子大生でも気軽にアイドルになれる。そんな時代がやってきた。江戸川大学からもSADJDが誕生した。彼女たちは様々なイベントに参加し日々成長している。

SADJDは2011年11月に行われた駒木祭をきっかけに発足した。「日本に元気を!みんなに笑顔を!私たちに単位に笑顔を!私たちに単位に」をコンセプトに、現在、藤塚亜里沙さん(マスコミ学科4年)はもともととアイドルが好きで自分も踊ってみたいと思った。転機となったのが東日本



衣装も本格的なSADJD。彼女たちにしか出せないパフォーマンスに魅了される!

SADJDから2名参加!

“11TH DIMENSION
北海道公演?
in 吉祥寺”
@SHUFFLE



ポーズを決める鈴木さん



可愛らしく歌う藤塚さん

大震災。沈んでいた時期にも関わらず、被災地では被災者の人がダンスを踊って「私たちは元気です」と日本中に発信していた。

「私たちが震災で苦しんでいる人になにか発信したい。思いが強くなりアイドル、ダンスが好き仲間とSADJDを結成した。結成当初はうまくいかず、人前で踊る事も恥ずかしかった。しかし、イベントに参加することでその不安は消えていった。今では自己表現できることが楽しくてしょうがない。藤塚さんをはじめメンバーの想いは被災地、そして私たち江戸大生にも必ず伝わるに違いない。」

3月30日吉祥寺シャッフルで「イレヴンス・デイメンション北海道公演? イン吉祥寺」が開催された。江戸川大学からはアイドルダンス愛好会「SADJD」で活動している藤塚亜里沙さん、鈴木樹里さん(マスコミ学科4年)の2名が参加した。

このイベントは、共立女子大学の吉野麻未さんが主催した。ももいろクローバーZ(以下ももクロ)のダンスだけを完全コピーする。イベントにはももクロのダンスだけでなく、通称モノノフ(ももクロの熱狂的ファン)と呼ばれるファンも多く詰めかけた。曲に合わせて、メンバーへのコールなどがあり会場は熱気に包まれていた。

SADJDと吉野さんはもともとと面識があったわけではなく動画投稿サイトYouTubeでSADJDのダンスを見た吉野さんがオファーし実現した。

SADJDでリーダーを務める藤塚さんは「練習期間も短く全員で集まったのは3回くらい。不安があったが、会場にきてくださったファンのおかげで盛り上がり上がったのでよかった」と話す。

コピーダンス終了後にはももクロのライブ映像を流し、出演者とファンは実際のももクロライブさながらな盛り上がりを見せ交流を深めていた。(文:君島孝規)



イベント終え充実した表情の2人。

学生記者募集!

学生記者クラブは、学内外のイベントや、部活動、サークル活動などを取材します。

記事は「江戸川大学学生新聞」として発行するだけでなく、ウェブにもアップして世界に向けて発信していくプロジェクトです。

「Journalism」とは「発見や感動を相手に伝えること」。あなたもジャーナリストになろう!

N棟1階の受付にお気軽に声をかけてください。連絡先: TEL(04-7152-9908)E-mail(kouhou@edogawa-u.ac.jp)企画総務課